

合法木材供給事業者認定申請書

平成 年 月 日

篠山木材協同組合 殿

(申請者)

事業者の所在地 :

事業者の名称 :

代表者の氏名 :

貴団体の認定を得て木材・木材製品の合法性・持続可能性の証明を行いたいので、合法性・持続可能性の証明に係る事業者認定実施要領に従い、下記のとおり関係書類を添えて申請します。

記

- 1 創業年、従業員数 :
- 2 取り扱う木材・木材製品の主要品目、年間取扱数量 : (別添 : 適宜作成)
- 3 事業所の敷地、建物及び施設(土場、倉庫等)の配置状況 : (別添 : 適宜作成)
- 4 分別管理及び書類管理の方針 : (別添1)
- 5 その他(注) : (別添 : 適宜作成)

注 : その他には、資格(ISO、JAS等)を持っていれば記入して下さい。

木材・木材製品の主要品目及び年間取扱数量

申請者名 _____

申請前1年間の取扱数量は次のとおりです。

(平成 年 月 日～平成 年 月 日)

	原木（丸太） 製材品の区分	主な樹種	出荷商品の品目又は名称	取扱数量 (本、枚、m ³)	比率 (%)
1					
2					
3					
4					
5					

注 ① 原木（丸太）製材品の区分 : 出荷商品の原材料として入荷した時点の区分

② 出荷商品の品目又は名称 : 角材、割り材、板材のほか合板や集成材、
いす、机などを記入

分別管理及び書類管理方針書（例）

〇〇〇〇会社

平成〇〇年〇月〇日作成

本方針書は、篠山木材協同組合が作成した「違法伐採対策に関する自主的行動規範（平成22年2月8日公表）」を受け、合法性・持続可能性の証明された木材・木製品（以下「証明材」という。）の供給に当って必要となる分別管理の方針を定めるものである。

（適用の範囲）

1. 本方針書は、当社製材工場等において原木及び当該原木を原材料として製造する製材品の取扱について適用する。

（分別管理責任者）

2. 分別管理を適切に行うため、〇〇〇〇（氏名）を分別管理責任者として定める。
3. 分別管理責任者は、合法木材の適切な分別管理及びその実施状況の点検を、責任を持って行うものとする。

（分別管理の実施）

4. 原木の入荷に当っては、納品書（証明書）等により合法木材であるかそれ以外の木材であるかを確認する。
5. 原木の保管に当っては、合法木材とそれ以外の木材が混在しないよう、それぞれ保管場所をテープや標識等により明示する。
6. 製材加工に当っては、合法木材とそれ以外の木材が混在しないよう区分して加工する。
7. 製材品等の出荷に当っては、合法木材であることを確認のうえ納品書に記載する。
8. 製材品等の保管に当っては、合法木材を原料として製造した製材品と、それ以外の木材を原料として製造した製材品が混在しないように、それぞれの保管場所をテープや標識等で明示する。

（書類の管理）

9. 分別管理責任者は、合法木材及びそれ以外の木材に係る前年の4月～当年の3月までの原木消費量および製品生産量を毎年6月末日までに実績報告としてとりまとめ篠山木材協同組合に報告するものとする。
10. 合法木材の入出荷、在庫に関する情報が管理できるよう、管理簿を常備し、適切に記録し管理する。
11. 証明書及び納品書、管理簿等の関係書類は、合法木材の出荷後5年間整理保管する。

以上

合法木材供給事業者認定書

平成 年 月 日

殿

篠山木材協同組合
代表理事

平成 年 月 日付けで申請のありました合法性・持続可能性の証明に係る事業者認定申請について、当団体の事業者認定実施要領に基づき、下記のとおり認定します。

記

団体認定番号 :
事業者の所在地 :
事業者の名称 :
代表者の氏名 :
認定の有効期間 : 平成 年 月 日～平成 年 月 日

(注) 申請内容に変更があった場合は届け出て下さい。

番号
平成 年 月 日

木材・木材製品の合法性・持続可能性証明書

殿

事業者の所在地：
事業者の名称：
代表者の氏名：
団体認定番号：

下記の物件は、持続可能な森林経営を行っている森林から合法的に伐採された木材のみを原材料としていることを証明します。

記

- 1 樹種：
- 2 品目（注③）：
- 3 数量（注④）：

（注）

- ①本様式による証明書の作成に代えて、既存の納品書等に上記の情報（団体認定番号、合法木材である等）を追加記載することで証明書とすることも可能です。
- ②上記は合法性、持続可能性を証明する場合の例であり、合法性のみを証明する場合は持続可能性に係る記述を省略して下さい。
- ③丸太、製材、合板、集成材等を記述して下さい。
- ④商取引上の単位（m3、本、kg、枚など）にて記述して下さい。

平成 年 月 日

篠山木材協同組合 殿

事業者の所在地 :

事業者の名称 :

代表者の氏名 :

団体認定番号 :

合法性・持続可能性の証明された木材・木材製品の 取扱実績報告

合法性・持続可能性の証明に係る事業者認定実施要領第八により、下記のとおり合法性・持続可能性の証明された木材・木材製品の取扱実績を報告します。

記

1. 期間	平成 年 4月 1日～平成 年 3月31日	
2. 木材・木材製品の取扱量(総数)	原木(原料)入荷量	m3
	製品出荷量	m3
3. うち合法性・持続可能性の証明されたもの	原木(原料)入荷量	m3
	製品出荷量	m3

備考 :

(注)

- ①上記は合法性・持続可能性が証明された木材・木材製品の実績を報告する場合の例であり、合法性のみ場合は持続可能性に係る記述を省略して下さい。
- ②原木(原料)入荷量よりも製品出荷量が多くなる場合については、備考にその理由を記述して下さい。

合法木材供給認定事業者の認定取消通知書

平成 年 月 日

殿

篠山木材協同組合
代表理事

貴事業者については、平成 年 月 日付けで認定事業者として認定しましたが、合法性・持続可能性の証明に係る事業者認定要領第十の規定により、○年○月○日付けでその認定を取り消したので通知します。

記

- 1 団体認定番号 :
- 2 事業者の名称 :
- 3 代表者の氏名 :
- 4 事業者の所在地 :
- 5 取消の理由

合法木材供給事業者認定申請書(継続)

平成 年 月 日

篠山木材協同組合 殿

(申請者)

事業者の所在地 :

事業者の名称 :

代表者の氏名 :

認定番号 :

貴団体の認定を得て木材・木材製品の合法性・持続可能性の証明を継続して行いたいので、合法性・持続可能性の証明に係る事業者認定実施要領に従い、下記の通り関係書類を添えて申請します。

記

- 1 創業年、従業員数
- 2 取り扱う木材・木材製品の主要品目、年間取扱数量
- 3 過去3年間の合法木材取扱実績量
- 4 事業所の敷地、建物及び施設(土場、倉庫等)の配置状況
- 5 分別管理及び書類管理の方針
- 6 その他(注)

注：その他には、資格(ISO、JAS等)を持っていれば記入してください。